

なまえ

声に出して、むかし話や 古てんを 読み、その リズムを あじわいましょう。

★ 声に出して 読みましょう。

ありと はちと くも

あるとき、ありと はちと くもが、おいせまいりに いったんだって。

「とちゅうで なにか ひろったら、なかよく わけっぺなあ。」

と やくそくして でかけたんだって。

ところが はじまりに、ありが おかねを 百もん ひろったって。 そうしたら、ありは、

はちは 八もんなあ

くもは 九もんなあ

ありは ありったけなあ

とうたいながら、のこりの 八十三もん、ぜんぶ とってしまったんだって。

それから また いったら、こんどは はちが にしんを ひろったって。 そうしたら、はちは、

にしんが はち

にしんが はちで

はちのもの

とうたいながら、ひとりで にしんを とっちまったって。

それを みたくもは、ぶんぶんして ねえ。 ながい あしで さっさと あるいて いったら、

うまそうな あめっこめ つけ たんだって。 そこで くもは、

くもは あめの さきがけ

くもは あめの さきがけ

という わけで、くもの もの

とうたいながら、さっさと あめを ひろったとき。

★ おもしろいと思った ところはどこですか。 友だちや 家の 人と 話しましょう。

「じっくり しつかり くり返し」の 十一ページを 参考 にしてください。